令和５年 12 月 13 日

ドバイ日本人学校・幼稚園
保護者の皆様

# 次年度からの通学バス事業について(お知らせ)

ドバイ日本人学校 学校運営理事会
理事長　清宮 貴司

朝夕、大変清々しい快適な気候となって参りました。皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃より、通学バス事業にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

次年度より、下記のように通学バス事業を変更いたしますので、下記の通りお知らせいたします。また、今回変更決定の経緯・背景につきましても、あわせてご確認いただけますようお願いいたします。

記

１，現在、バス８台、それに伴うドライバー、アテンダントをバス会社からドバイ日本人学校が借り受けており、学校運営理事会(バス運営委員会)が、その８台のバスの運行を行っております。
次年度からは、バスの運行についてもバス会社にお願いする形にします。(全面委託)

２，今後は、周辺のインター校と同様に、保護者ご自身が、送迎事業を行うバス会社と直接契約を締結していただくことになります。したがって、欠席の場合の連絡や、転居に伴う乗降場所の移動など事務的な作業についても、保護者ご自身で直接バス会社と行っていただくことになります。

３，通学バス事業変更に伴う具体的な申し込みの方法等については、今後お知らせしていきます。

以上

上記決定に関わる経緯・背景をお伝えいたします。

<走行コースと乗車人数の変化（集住から拡散へ）>

今から 13 年前、約 200 名の最も多い児童生徒を数えた頃は、10 コースの運行をしていました。その内訳を見ますと、現在の H コース方面(Hayatt/Jumeirah)に 3 コース、現在の A コース方面（Al Ghurair/Creek）に 4 コース、その他の 3 コースは、現在の W コース方面と MG コース方面、B コース方面に、それぞれ 1 コースというものでした。

現在の H・A コース方面に、多くの児童生徒が住んでいたことがお分かりになると思います。

その後、年々児童生徒数は減少してきましたが、H・A コース方面に、ある程度まとまってお住まいになっている傾向は続いていたようです。したがって、まとまって住んでいる地域と学校を結んで、通学バスが運行されてきました。

児童生徒の本校での平均修業年数は、約 3 年間です。毎年、40 名以上の退学(含 G9 卒業)と編入学があります。つまり約 80 名の児童生徒の異動があります。全てのお子様が、通学バスを利用されるわけではありませんが、この退学編入学のたびに、バスの座席が変更されることになります。

従来は比較的ある程度まとまってお住まいになっている地域の中で、退学と編入学がありましたので、席が空くと、また新しく座るお子様がやってくるという、適切な循環がありました。現在は、ご存知のように様々な地域から学校に通ってきています。保護者の皆様のお住まいに関しては、ドバイの不動産状況の変遷に沿って、集住から拡散という傾向が見られます。このため、退学や編入学が同じコー

ス上で見られるという機会も少なくなりました。時によって、ある特定のコース車両の座席が満席近くなったり、はたまた空席が目立ったりしてきています。そのため、定員を超えるときには、他のコースを走るバス車体と交換して対応してきました。

特定のコースで空席が多くなってきているということは、運賃(利用料金)高止まりの原因の一つにもなっています。

<居住の多様化(早い者勝ち、言った者勝ちの状況)>

最近、転居される方や新たに編入学される方から、転居住居先で通学バスが利用できるか、という問い合わせが非常に多くなっています。かつては、ホームページに掲載されている利用可能なホテル・レジデンス一覧から、転居住居先を選ばれる方がほとんどでした。これらは現在運行しているコース上の物件ですので、問題なく通学バスが利用できます。しかし最近は、その掲載された物件ではなく、その他の物件からお住まいを選びたい、という方が多くなってきています。

このような問い合わせには、現在運行ルートを一部伸ばすことで対応しています。したがって、運行時間に余裕のある時の問合せには対応できますが、余裕がなくなるとお断りせざるをえなくなります。退学と転入学が頻繁ですので、ある時はできないと言っても、ある時にはできるということが、どうしても出てきてしまいます。バス運営委員会では真摯に対応していますが、このような状況は不信を抱かせてしまうのではないかと心配しています。いわば、早い者勝ち、言った者勝ち、という状況になってきているということが言えるかもしれません。

<居住の多様化への対応(バス会社への全面委託)>

この居住の多様化への対応としては、より多くのコースに多様なバスを運行させれば解決することができます。時間的制約が課題であるならば、コースを分けて運行すれば解決は可能です。乗車人数で制約があるのならば、より大きなバスを運行させればよいことになります。

本校では、8台のバス、大型1台、中型3台、小型4台のバスをドライバーともども借り受けています。これを工夫して運行することで、現在の通学バス事業を行っています。運行は学校運営理事会、車体等は借り受けということですので、一部委託という形態です。

今後ですが、バス会社に運行も委託(全面委託)すると、運行に最も望ましいコース、車体、台数をバス会社が設定し対応していくことになります。「早い者勝ち、言った者勝ち」の、また、空席が多い運行になることはなくなると考えています。

◆バス会社全面委託の利点と課題等◆

利点・現在、園児児童生徒170名中、143名84%が通学バスを利用中。利用していないご家庭も希望すれば利用できるようになります。(1人だけとか、遠隔地などは難しい)

・転居住居先の制限が少なくなり、より柔軟に転居住居先を考えることができます。

・現在月720Dhsの利用料金が、642Dhsと安価になります。

課題・保護者ご自身で、送迎事業を行うバス会社等と直接契約を締結し、欠席等の連絡や転居に伴う乗降場所の移動など、事務的な作業を行うことになります。(これはインター校も同じ)

課題の解決のために、、

・保護者が契約等を適切に結べるように、学校から情報提供等を行います。

・学校は必要に応じて、保護者の皆様の通学バスに関するご相談等を受け付けます。

次年度からの全面委託先は、現在一部委託しているバス会社(Al Sahel社)を予定しています。現在のバス運行会社と同じ会社であるため、コース設定や車体の変更はあっても、その他の大きな変更はないと理解しています。